



鈴木まもる県議会レポート

発行/自由民主党千葉県議会議員会 〒260-0855 千葉市中央区市場町2番13号 電話 043 (227) 7411

北千葉道路は外環受け入れの条件!

市川市特集 6月県議会一般質問



本会議場で一般質問に登壇した鈴木衛県議

市川市議時代から外環道路の建設計画とその受け入れに関わってきた市川市選出の鈴木衛(すずき まもる)県議は、六月県議会で再び一般質問に登壇し、六年後に迫った外環道完成予定に対し、市川市が外環受け入れ条件とした九分之二項目の関連事業に進捗がみられないと県に厳しく迫りました。中でも、北千葉道路の整備は、「外環道受け入れの要件」として、早期具体化と事業着手を求めました。県議会での鈴木県議の質疑を特集しました。

鈴木議員 北千葉道路の印旛村から成田市間については、平成二十年代半ばの供用に向け、国・県で事業が進められているが、引き続き未整備区間の市川市から鎌ヶ谷市間について、事業が継続されるものと思っておりますが、着手の時期等について、どのように考えているのか、伺いたい。

県土整備部長 北千葉道路の市川市から鎌ヶ谷市間については、昨年度から県としての基礎的な調査に着手したところであり、引き続き、沿線の自治体などと構成する連絡会などで検討を進め、国による早期事業化に向けて働きかけてまいります。

鈴木議員 平成二十七年全線供用に向け、外環道路の整備が進められているが、すでに北千葉道路が接続される部分は「北千葉ジャンクション」として計画されていること、また、より交通機能を高めるためにも、外環道路の全線供用に合わせ、一体的かつ効率的な交通ネットワークの形成が大変重要と思われることから、未整備区間の早期具体化と整備について、国の事業として進めるよう、強く申し入れできないか。

県土整備部長 北千葉道路は、首都圏北部と成田空港を結ぶ重要な路線であり、国の都市再生プロジェクトにも位置づけられていることから、国において、事業が実施されるようこれまで要望してきたところでございます。今後とも、沿線の自治体などと連携し、国に強く働きかけてまいります。

北千葉道路は、昭和四十四年に都市計画決定されてすでに四十年。北千葉道路は、外環受け入れの条件になっていると私は思っています。

鈴木まもる県議プロフィール

略歴

- 昭和26年 市川市若宮生まれ
- 私立市川高校卒業
- 専修大学文学部中退
- 市川市議会議員当選(4期)
- 市川市議会議長
- 平成19年千葉県議会議員当選

現職

- 自民党市川支部副支部長
- 県議会 商工労働企業常任委員会委員 予算委員会委員
- 千葉県 水道事業運営審議会委員
- 市川交通安全協会会長
- 市川市サッカー協会会長
- 市川市少年野球リーグ会長
- 市川商工会議所参与
- 市川市観光協会副会長
- 市川食品衛生協会顧問

外環道路の完成とは、外環道路の計画に合わせて計画された関連施設の完成も含めて完成であると思っております。市川市民の多くもそのような認識であると思っております。ぜひとも、北千葉道路を含めた九分之二、二十二項目の早期進捗について、強く要望します。

外環は二日も早く完成を

鈴木議員 「東京外かく環状道路」は、都心に集中する交通を分散させ、首都圏の渋滞緩和に大きな役割を果たす道路で、千葉県区間は平成二十七年の開通を目標に整備が進められていますが、県は、今後の取り組みについて、どのように考えているのか。

森田知事 外環は、首都圏道路ネットワークの一翼を担う重要な道路であり、本県においては、東葛飾や葛南地域

の慢性的な交通混雑の緩和に資するとともに、市川、松戸両市の安全で快適なまちづくりなどを進める上で大きな役割を果たす道路です。

県としても、用地取得や環境保全対策の実施に当たっての支援を引き続き行うなど、外環が一日でも早く完成するよう、国や東日本高速道路株式会社へ積極的に協力してまいります。

市川・鎌ヶ谷間で調査着手

計画決定から40年、進まない関連事業

都市づくり、地域づくりのご意見、ご提言をお寄せください。

鈴木まもる 県議事務所 〒272-0021 市川市八幡3-29-20 秋葉ビル3F
TEL047-333-6000 FAX047-322-3232

鈴木まもるホームページ http://www.suzukimamoru.com

県の不誠実な対応に怒り!!

行徳橋の架け替えを要望

市川市特集

鈴木議員 主要地方道市川浦安線に架かる行徳橋について伺います。行徳橋は老朽化が進行していること推察されることがから、将来にわたっての安全性などを考慮すると行徳橋を管理する県としても、早期に検討する必要があると思いますが、どうか。

県土整備部長 行徳橋については、これまで、定期点検や道路パトロールによつて、橋梁の安全性が損なわれないよう維持管理に努

要望 行徳橋は、老朽化しており、市川市を南北に結ぶ、交通や地域交流の市民生活の動脈となつている重要な橋の架け替えは喫緊の課題であり、前向きに検討していく必要があると考えています。行徳橋の架け替え時は、国の補助率の高い方法を選択するよう要望します。



自席から再質問に立つ鈴木衛県議員

めてきたところです。今後、行徳可動堰の検討結果を踏まえ、堰の管理者である国や地元市川市とともに、対策を検討してまいります。

行徳可動堰は部分改築か

鈴木議員 行徳橋と一体化している行徳可動堰は、建築後五十二年が経過し、老朽化が進んでいます。地域の安全のため、洪水時にはゲートが適切に操作されることが必要不可欠ですが、平成十九年の洪水時には、中央のゲートが開かないというトラブルも発生したと聞いています。

行徳可動堰は、国交省において改築の検討が進められていて、ゲート交換や堰本体補強等による部分改築を含め、検討が行われていると聞いています。

外環道完成に合わせ関連事業も

「9分類22項目」の履行求め

鈴木議員 六月県議会一般質問で、市川市にとつて永年の懸案である東京外かく環状道路の建設計画とその受け入れ要件とされる「九分類二十二項目」の進捗状況を改めて確認しました。

「九分類二十二項目」の要望は、外環道路の提案を受けた市川市が、平成五年六月に当時の沼田武知事あてに提出した文書で明示した内容で、市川市はこの中で、当時の建設省案を受け入れることとしたとし、市川市のまちづくりへの影響、市民の意向等を尊重し適切な対応をするよう、路線や構造、環境など九分類二十二項目を挙げて対応を求めたものです。

しかし、外環道路は、あと六年後の「平成二十七年全線開通予定」とされているものの、これと並行する関連事業の多くの見通しは立っていません。

この現状に、鈴木議員は「行政は、その継続性ということを考えるとき、知事が代わったからといって、あつとこの間にその方向性を変更できるものではない」と、迫りました。

さらに、鈴木議員は「外環道路の完成とは、外環に合わせて計画された関連施設の整備が促進されなければ、外環道路本体が完成したとしても、市街地に流入する交通量がかえって増えるなど、新たな課題を生じかねない」とし、県の責任ある対応を厳しく求めました。しかし、県の回答は鈴木議員を大きく失望させるもので、不誠実なものでした。

鈴木議員 市川市長が東京外かく環状道路の建設計画に対して要望した九分類二十二項目について、進捗状況はどうか。

県土整備部長 市川市の要望事項のうち(仮称)妙典橋、国道14号市川拡幅高谷川の改修、江戸川左岸流域下水道松戸幹線などについては、すでに事業着手しており、早期完成に向けて努力しているところです。

一方(仮称)押切橋や(仮称)大洲橋、また葛南広域公園に関しては、事業化に向けて検討を重ねてきたものの、厳しい財政状況の中、いまだ具体化に至っていない状況にあります。

県としては、今後とも市川市の意向を十分尊重し、関係機関と連携を図りながら、できる限りその要望の実現に努めてまいりたいと考えています。



外環関連事業は市川市に不可欠 現場を視察する鈴木衛県議員

六月県議会一般質問
生活いきいき宣言
鈴木まもるの県議